

# 2025年11月 東京地区百貨店売上高概況

2025年12月25日

## I. 概況

1. 売上高総額	1, 558億円余
2. 前年同月比（増減率）	-0.1% (3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭	店頭2.3% (92.0%) : 非店頭-21.3% (8.0%) ( ) 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (本年10月対比±0店) (前年同月比: ±0店)
5. 総店舗面積	672,447m <sup>2</sup> (前年同月比: 0.0%)
6. 総従業員数	12,329人 (前年同月比: -1.2%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -8.8%、5-7月 -9.9%、6-8月 -8.1%、 7-9月 -3.7%、8-10月 1.4%、9-11月 1.9%

[参考] 2024年11月の売上高増減率は2.7%

## 【特徴】

11月の東京地区は、売上高0.1%減と僅かに前年を下回った。入店客数は改裝効果等から3.5%増と伸長。気温の低下と共にコートやニット等、冬物衣料が好調に推移した。国内売上は0.9%増と3か月連続増。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

衣料品(0.2%増)：主力の衣料品は、紳士服・婦人服共にコート等アウター類が本格稼働し、コートは、ウール、非ウール共に伸長。紳士服はスーツやジャケット等、ビジネスアイテムも好調。洋品では、婦人のマフラー等首回りのアイテムにも動きが見られた。

身のまわり品(4.1%減)：ラグジュアリーブランドは国内売上が好調もインバウンドは低調。アクセサリーはホリデーシーズンを前に国内ブランドがプレゼント需要増で好調。

雑貨(4.5%増)：化粧品はメイクアップやスキンケアの他、クリスマスコフレ等、幅広いアイテムの購買が見られた他、宝飾や時計は外商顧客向け催事等で伸長。

食料品(0.2%減)：生鮮食品は価格高騰や売場改裝工事中等によりマイナスが継続。菓子は秋冬の旬素材を使用した和洋菓子が人気の他、クリスマスケーキの予約は、カットケーキや冷凍ケーキの需要増。歳暮は、店頭は縮小傾向によりややマイナス、ECは割引特典や自家需要増等もあり好調に推移し、全体では微減。

12月足元動向：前年比0.1%増(12/18時点)で推移。

## 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数17店舗)  
①増加した：8店、②変化なし：4店、③減少した：5店
- (3) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上 (同上／有効回答数10店舗)  
①増加した：1店、②変化なし：6店、③減少した：3店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2025年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総額</b>	<b>155,861,967</b>	<b>100.0</b>	<b>-0.1</b>
紳士服・洋品	12,233,138	7.8	1.2
婦人服・洋品	26,416,011	16.9	0.5
子供服・洋品	1,939,133	1.2	-2.8
その他衣料品	1,697,041	1.1	-6.7
<b>衣料品</b>	<b>42,285,323</b>	<b>27.1</b>	<b>0.2</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>25,023,628</b>	<b>16.1</b>	<b>-4.1</b>
化粧品	13,684,736	8.8	-0.6
美術・宝飾・貴金属	18,079,628	11.6	7.4
その他雑貨	4,535,029	2.9	9.9
<b>雑貨</b>	<b>36,299,393</b>	<b>23.3</b>	<b>4.5</b>
家具	1,284,224	0.8	-7.2
家電	1,189,182	0.8	-2.1
その他家庭用品	3,206,126	2.1	-5.2
<b>家庭用品</b>	<b>5,679,532</b>	<b>3.6</b>	<b>-5.0</b>
生鮮食品	4,915,821	3.2	-5.1
菓子	12,774,810	8.2	3.3
惣菜	8,437,052	5.4	4.7
その他食料品	13,856,075	8.9	-4.1
<b>食料品</b>	<b>39,983,758</b>	<b>25.7</b>	<b>-0.2</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>2,200,906</b>	<b>1.4</b>	<b>3.9</b>
<b>サービス</b>	<b>2,742,084</b>	<b>1.8</b>	<b>15.7</b>
<b>その他</b>	<b>1,647,343</b>	<b>1.1</b>	<b>-33.1</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	2,420,842 千円	-6.5
従業員数	12,329 人	-1.2
店舗面積	672,447 m <sup>2</sup>	0.0
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

## II. 商品別の動き

主要5品目は衣料品、雑貨の2品目がプラスとなった。  
 その他の品目は、紳士服・洋品、婦人服・洋品が3か月連続でプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属、菓子、惣菜が4か月連続でプラスとなったが、子供服・洋品が2か月ぶり、化粧品が2か月連続でマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>−0.1</b>	—	<b>3か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	1.2	0.1	3か月連続プラス
婦人服・洋品	0.5	0.1	3か月連続プラス
子供服・洋品	−2.8	−0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	−6.7	−0.1	12か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>	<b>3か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>−4.1</b>	<b>−0.7</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
化粧品	−0.6	−0.1	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	7.4	0.8	4か月連続プラス*
その他雑貨	9.9	0.3	3か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>4.5</b>	<b>1.0</b>	<b>3か月連続プラス</b>
家具	−7.2	−0.1	8か月連続マイナス
家電	−2.1	−0.0	12か月ぶりマイナス
その他家庭用品	−5.2	−0.1	4か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>−5.0</b>	<b>−0.2</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	−5.1	−0.2	20か月連続マイナス*
菓子	3.3	0.3	4か月連続プラス*
惣菜	4.7	0.2	4か月連続プラス*
その他食料品	−4.1	−0.4	3か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>−0.2</b>	<b>−0.0</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>3.9</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>15.7</b>	<b>0.2</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>−33.1</b>	<b>−0.5</b>	<b>5か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>−6.5</b>	<b>−0.1</b>	<b>21か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品について、2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橋・青柳まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>